

会 議 概 要

第 1 回 【常盤校区】学校適正化に向けた校区懇談会

《開催日》令和4年5月14日（土曜日）

《時 間》15：00～16：30

《場 所》常盤地区公民館 講座室2

《参加者》地域参加者：6名 教育委員会事務局：6名

<議題等>

- 1 開会
- 2 事務局挨拶
- 3 懇談会参加者・事務局の紹介
- 4 議題
 - (1) 事務局からの説明事項について
 - (2) 意見交換

事務局	(別添資料に沿って内容を説明)
参加者	常盤校区の中で、唯一門前町のみが通学区域見直し対象地域となっている。その判断理由について教えて欲しい。
事務局	児童生徒の通学距離、市全体の学校規模、配置バランスを勘案した上で、門前町1～3丁目の通学区域を見直す(案)をお示ししたもの。
参加者	山下町や星和台といった近隣地域が見直しの対象に入っていない理由は何か。
事務局	通学路や通学距離といった地理上の事象を判断材料とした。 一方、これまでの地域説明会等で、常盤・桜台校区だから門前町に自宅を購入したといった声も伺っている。また、新たな学校の開校に伴って、兄弟姉妹が異なる学校に通学することになってしまうのではないか、といった心配の声もある。子どもたちの教育環境に支障が生じることのないよう、柔軟に対応していきたい。
参加者	門前町会には、門前町1～3丁目以外の住所、例えば真上町や上松町の住民もいる。それらの世帯はどうなるのか。

事務局	<p>現在の実施計画（案）における通学区域見直しの線引きでは、令和2年度に住居表示が実施された門前町1～3丁目を対象としている。ご質問の地域については、住所が異なるものの、実質門前町のコミュニティであるというご指摘もいただいている。</p> <p>ご質問の地域も含め、見直しの線引きを修正すべきといったご意見については、柔軟に対応していきたい。</p>
参加者	<p>光明小学校に通学している児童もいると思うが、そういった地域はどうか。</p>
事務局	<p>現在も門前町の一部において光明小学校を選択できる調整区域を設けていることもあるため、その点も含め、懇談会でのご意見を踏まえながら方向性を決定していきたい。</p>
参加者	<p>町会で説明する機会があれば答える必要があると考え、尋ねさせてもらった。ある程度の方向性がないと判断できないだろうが、保護者の方に委ねる決定だとは思う。</p>
事務局	<p>仮に、従来どおり光明小学校を調整区域として維持してほしいというご意見が多数ならば、そのようにすることを含めて判断していきたいと考えている。</p>
参加者	<p>光明小学校へ通学しているのは、門前町3丁目の方が多いと思う。中学校は桜台中学校になる。</p>
事務局	<p>該当区域の方については、常盤小学校・桜台中学校か、光明小学校・桜台中学校を選びたいという声が多いと認識している。一方で、門前町2～3丁目新興住宅開発の際には、より近い葛城中学校への通学も一案としてあったと把握している。</p>
参加者	<p>資料の7ページ、施設一体型小中一貫校の特徴を活かした先進事例の取組の中で「4－3－2制」とある。これは義務教育を4年、3年、2年で区切るということだと思うが、どのようなものか。</p>
事務局	<p>基本的には小学校が6年間、中学校が3年間という区切りがあるが、9年間の教育を一貫して行う義務教育学校では、4年、3年、2年を1つの</p>

	<p>単位や節目として教育活動を行っている先進事例の取組がある。4-3-2以外にも5-4で区切っている学校もある。</p>
参加者	<p>区切りによる違いはあるのか。</p>
事務局	<p>現状、小学校から中学校に進学する際に環境変化に適応できず、スムーズな移行ができない子どももいる中で、そうした課題を解決する方策の一つとして、区切り方に工夫を持たせているものと捉えている。</p>
参加者	<p>実際の学年区切りというよりは、教育目標の考え方として区切っているという理解でよいか。</p>
事務局	<p>そうである。実際に学習する中身については、小学1～6年生まではこの内容、中学1～3年生まではこの内容、といったように学習指導要領で定められているので、それを飛び越えて行うといったものではない。小・中学校間の段差をなめらかにしていくような取組である。</p> <p>また、施設一体型小中一貫校であれば、例えば職員室を一つとすることにより、9年間通じて子どもたちの成長を見守ることができるなど、従来の小中連携と比べてより綿密な連携、取組が可能になると考えている。</p>
参加者	<p>市内全域からの通学を可能とする、特認校制度の導入を検討しているところだが、この実施計画（案）であれば、門前町に住む子どもたちは必ず（仮称）葛城小中一貫校に通学するというので、他の校区からは選んで入学できるが、門前町に住む場合は選べないということなのか。</p>
事務局	<p>現在の実施計画（案）ではそうである。</p> <p>現在は東葛城小学校で特認校制度を設けているが、実施計画（案）においては同校を閉校予定としているため、（仮称）葛城小中一貫校のほか、（仮称）山滝小中一貫校においても特認校制度の導入を検討する案となっている。</p>
参加者	<p>仮に（仮称）葛城小中一貫校の人気が出て、特認校制度を希望する児童生徒が多数となった場合、どのように対応するのか。</p>
事務局	<p>募集定員を設けている事例もある。定員を超えた場合の対応について、他市事例をみると、ほとんどが抽選を行っているかと把握している。</p>

参加者	<p>仮に、門前町が（仮称）葛城小中一貫校の通学区域となった場合、特認制度を希望する児童生徒の人数に関わらず、もちろん門前町のすべての児童生徒は（仮称）葛城小中一貫校に通学することができる。</p> <p>小中一貫教育のメリットは理解するが、例えば4-3-2制という区切りの途中で私立中学校への入試を考えている保護者もいる中で、どのように教育を進めていくのか。</p>
事務局	<p>先ほどの説明にあったように、小学校6年間における学習内容は学習指導要領に定められている中で、仮に4-3-2の区切りを設けたとしても、6年生までに行う学習内容は同じである。よって、例えば「3」の途中にあたる小学6年生時に、中学受験によって私立中学校に進学することにも問題はない。</p>
参加者	<p>施設一体型小中一貫校でありながら、特認校という制度をさらに加え入れる意味・意図についてお示しいただきたい。</p>
事務局	<p>現在特認校となっている東葛城小学校を閉校する案であるため、市内に特認校を引き続き設置するということや、中学校区として児童生徒数が減少している中で、他の校区からも児童生徒が通学することで一定の集団規模をめざしていきたいという考え方である。</p> <p>また、仮に（仮称）葛城小中一貫校、（仮称）山滝小中一貫校が開校すれば、本市で初めての施設一体型小中一貫校となるため、それ自体を特色と捉えた上で特認校に指定し、様々な教育活動を展開していきたいと考えている。</p>
参加者	<p>資料18ページにおいて、これまでの小学校区単位の地域コミュニティのあり方について記載がある。門前町はこれまで常盤校区で活動してきたが、小学校区が変更された場合、大正時代から続くコミュニティから離れて新しいコミュニティに入っていくこととなる。「学校再編の取組に左右されることなく」とあるが、実際には左右される中でどのように対応していくのかということになる。</p> <p>門前町会加入者対象のアンケート調査においても、常盤校区を離れることは問題であるという回答が多い中、資料では市長部局と連携して支援するとされているが、どのような支援を考えているのか。</p>

事務局	<p>仮に実施計画（案）どおり常盤小学校から（仮称）葛城小中一貫校へ通学区域を見直した際に、通学する学校が変わったからといって、その地域に住む方々の地域コミュニティ活動拠点についても変更を強いる考えはない。</p>
参加者	<p>本音では新しいコミュニティに一斉移行してもらった方がありがたいが、教育委員会としてそれを強いることができない立場だから、ということなのか。</p>
事務局	<p>そのような考えではない。教育委員会としては、子どもたちの教育環境を最優先に考えた上で今回の実施計画（案）をお示ししているが、それに伴って既存の地域コミュニティや、避難所機能に影響が生じるという課題についても認識している。それらの課題については教育委員会だけではなく、市長部局と連携しながら、地域の皆様と協議の上で解決策を見出していきたいと考えている。</p>
参加者	<p>教育環境を最優先に考えた上での取組ということだが、子どもを育てるのは学校だけではなく、地域でもあると考えている。これまで常盤連合で培ってきた子どもと保護者との交流活動といったものを、今後どのようにするのかをお示しいただけない中で進めていくということは良くないと考えている。取組を進める上では、地域についても合わせて考えていく必要があるのではないかと。そうした懸念もあって、門前町会アンケートにおいては反対の意見が多かったのではないかと推測している。</p>
事務局	<p>これまでも、通学の安全確保や学校での活動など、地域の皆様にお支えいただく中で学校が成り立ってきたものだとして認識している。</p>
参加者	<p>計画全体をみると、児童生徒の人数をかなり重視しているように思う。一定の集団規模を確保することで教育環境が整うという論理だと思うが、地域によって特性がある中、例えば学級数が少なくとも地域特性を活かすことができるのであればよいことだと思うので、あまり児童生徒数にこだわりすぎることもないと思う。</p>
事務局	<p>今ご意見があったように、望ましい学校規模に対しては様々な考え方があると思う。一方で国においては、学識経験者も交えた中央教育審議会における審議を経て、子どもたちの生きる力を育む上で一定の集団規模を確</p>

<p>参加者</p>	<p>保することが大切であり、学校全体では12～18学級という規模が望ましいという考え方を示しているところ。また本市においても、独自に審議会を設け、議論を重ねた上で望ましい学校規模について定めている。</p> <p>教育委員会として子どもたちのより良い教育を考える上では、一定の集団規模が確保された教育環境が大切であると考えている。</p> <p>学校再編がなされた際の地域コミュニティのあり方については流動的に考えているということだと思うが、例えば、これまでであれば常盤小学校と桜台中学校に通学し、地域活動としても常盤・桜台校区で活動してきたところを、(仮称)葛城小中一貫校に通学することになれば、当然ながら同級生や友だちのほとんどは葛城校区の方になると思う。地域活動の拠点として従来の常盤校区を選択したとしても、学校が異なることで、人間関係のないところに入ってしまおうということになるのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>門前町から(仮称)葛城小中一貫校に通学することで、子どもたちは葛城校区で友だち関係を構築することにより、従来の常盤校区において友だちをつくる機会がほとんどなくなってしまうということは、確かにあり得ると思う。ただその中で、現在門前町に住んでいる保護者や住民の方々に対して、地域コミュニティ活動の場所も葛城校区に移るべきだと強いるつもりはないということである。そこで生じる様々な課題については、行政としてサポートしていく必要があると認識している。</p>
<p>参加者</p>	<p>通学先として、(仮称)葛城小中一貫校を希望する方もいれば常盤小学校を希望する方もいると思うので、その点は自由に判断できるべきだと思うが、門前町会として二股に活動することはあり得ないので、拠点をどちらかに決める必要が生じる。町会員の中では現状維持を望む方が多いと思うが、一方で子どもたちの多くが新たな学校へ通学するとすれば、バラバラになってしまう。そういった懸念をどう解決するか。行政から方向性を示すことなく「判断は任せました」というだけではいけないので、町会を束ねる行政の役割を発揮してもらったタイミングがいずれやってくる。</p>
<p>参加者</p>	<p>門前町会アンケートの回答からは、通学区域の見直しはやめてほしいという意見が多い。元々の葛城校区だけでは、小中一貫校は成立しないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そういったご意見もある一方で、すぐ向かいに学校が設置されるなら、そちらを希望するといったご意見もあるものと考えている。</p>

参加者	<p>水道みちを挟んですぐ近くに学校があるのに、という声も想定する中で、例えば門前町の通学区域を見直さず、(仮称)葛城小中一貫校への通学を希望する場合は特認校制度を活用するという方策もあるのではないかと。町会としては常盤校区に属しつつ、希望される方は(仮称)葛城小中一貫校も選択できるということであれば、議論の着地点も見えてくるように思う。</p>
事務局	<p>今後の地域コミュニティ活動のあり方を考える上で、門前町全体の通学区域を一律に(仮称)葛城小中一貫校に見直すのではなく、選択制も含めて検討すべきというご意見であると捉えている。</p> <p>本日の議論も踏まえて、より良い方向性を決定していきたい。</p>
参加者	<p>基本的には地域コミュニティと小学校はセットで考える必要がある中で、門前町で仮に学校を選択できるようにしたとして、小学校が分かれる中で町会に加入しない町民の方も出てくると思う。地域コミュニティを選択する上で、子どもの数が少ない方に属しても活動の意味が薄れてしまうといった課題も出てくるので、非常に難しい。</p>
事務局	<p>本日いただいたような、様々なご意見をお伺いするために校区懇談会を設置し、皆様にご参加いただいている中、教育委員会が考える、一定の集団規模を確保する必要性については一定ご理解をいただいているように認識しているが、地域のコミュニティ活動と学校はセットで考える必要があるというご意見や、特認校制度を活用することで、通学区域を見直すことなく選択の余地を残すべきといったご意見についても理解できる。</p> <p>本日午前中に開催した、旭太田校区における懇談会でも、通学区域に対するご意見を多くいただいたところなので、調整区域の設定といったことも含め、考え方を整理した上で、次回懇談会で方向性をお示ししながら議論を進めていきたい。</p>
参加者	<p>先ほど説明のあった「4-3-2制」について、この言葉だけが前面に走ってしまうと誤解を生むのではないかと思う。小学校6年間、中学校3年間の「6-3制」が基本にある中で、具体的にどういったことを導入し、何を分けるのかという点について理解が難しい。</p>
事務局	<p>あくまでも他市の小中一貫校における事例の一つをお示ししたもので、従来のように小学校は6年生まで、中学校は3年生までという区切り方をし</p>

	<p>ている小中一貫校もある。</p>
参加者	<p>資料 17 ページにあるような、「4年生の 1/2 成人式、6年生のステージ進級式、7年生の立志式」のようなイベントを4-3-2の区切りで組み込んでいくということだと捉えたがどうか。</p>
事務局	<p>そのご理解で相違ない。学校によっては1～4年生をファーストステージ、5～7年生をセカンドステージ、8～9年生をファイナルステージなどと呼び名を変えて区切っている事例もある。次回、もう少し具体的な事例を紹介させていただければ。</p>
参加者	<p>承知した。どういったメリットや発達段階への影響があるのかといったことを知りたいと思う。</p>
事務局	<p>小・中学校の現場で子どもの精神面の成長をみていると、小学4～5年生くらいで大きな変化を迎える場合が多いと感じる。そういった発達・成長度合いに応じて学年段階の区切りを柔軟に設定している学校が増えてきているという背景がある。</p>
参加者	<p>新しい取組なので、興味深い。</p>
事務局	<p>本市の教育委員会としても、先進事例における学年区切りについて、どのような特徴があるのかを研究していきたいと考えている。</p>
参加者	<p>環境や子どもたちの精神的な面も変わっている中で、これまでのような6-3制がベストというわけでもないのかもしれない。</p>
参加者	<p>来年子どもが小学校に入学する立場なので、学校再編については興味深く考えているが、児童生徒数が大きく減っている中で学校の数が同じということは、我々の時代に比べると教員の人数割合は多くなっているように思う。正直、それが教員の質の低下にもつながっている話だと思う。</p> <p>100年前の学校の姿は今と大きく異なる中で、今から100年後も同じ形が続いていくとは到底思えず、変化していく必要があるのは当然のこと。それを踏まえ、維持コストの削減や教員の質の向上も考えると、学校の再編はもっと加速化すべきことではないかと考えている。</p> <p>一方で、地域コミュニティのことを考えると、門前町からはどちらの学</p>

	<p>校も選択できるようにするべきという意見と、そうしたときに門前町が空中分解してしまう、町会活動が非常に難しい状況に陥るという懸念がある中で、教育を最優先に再編を進めるということと、地域コミュニティを維持するということが交わるのは難しいのではないかと思う。何とか落としどころを探ろうとする中で、すべての負担が門前町の方にかかってしまっているのもっと市全体で考える必要があるのではないか。</p> <p>教育委員会として児童生徒数を把握するのが非常に難しくなると思うが、例えば特認校制度を拡充して、岸和田市全体の通学区域を自由化することも考えてほしい。自宅から近い学校があるのに、遠くて危険な通学路を通して指定された学校へ通うといった、住んでいる地域と通学校との乖離を考えると、新しいあり方を模索するのもよいのではないか。それにより、門前町の方にかかる負担を市全体で共有することにもなり、また、地域コミュニティのあり方も今後は大きく変わってくると思う。</p> <p>また、山手だけで再編を考えるのではなく、浜手でも小中一貫校を設置するなど、岸和田市全体で広く考えていくことで、先が見えてくるのだと思う。</p>
事務局	<p>浜手地域の再編について補足すると、現在実施計画（第1期）（案）では、小学校だけでなく中学校も小規模化が進行している山手地域における再編の具体案をお示ししているが、浜小学校及び中央小学校も小規模化しているため、第1期計画を進めながら、並行して第2期計画を策定し、浜手地域における再編の具体案をお示ししたいと考えている。</p> <p>また、ご意見にあったように、特認校制度を拡充することで、通学区域を実質的にすべて撤廃するという点については現状では考えていないが、既存の通学区域を見直す可能性自体はあり得るものと考えている。</p>
参加者	<p>門前町の方が納得できる形になればよいと思っているが、なかなか現状では門前町としてのメリットは感じられないように思える。一方で、新しく門前町に住む方の中には、新たな小中一貫校への通学を望む方もいるようには思う。</p>
事務局	<p>本日いただいた様々なご意見について、持ち帰り整理した上で、次回懇談会で方向性をお示しし、議論を進めていきたいと考えている。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>